

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6113 日本美術史2(近代)			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	J201教室				
代表教員	君島 彩子				
担当教員	君島 彩子				
テーマと到達目標	日本において美術は誰のため、何のためにつくられたのか。幕末・明治・大正の代表的な作品を知るとともに、日本における「美術」の成立の歴史的背景も理解する。				
概要	「日本美術」ととは、明治期に「絵画」や「彫刻」などの用語とともに産みだされた概念である。近代の日本美術史を学ぶことは現代まで続く美術という制度を理解するにも必要不可欠な知識である。さらに近代の日本美術においては、欧米やアジアなど日本以外の地域と関係を知ることも重要となる。本講義では幕末から大正期の代表的な美術作品を紹介するとともに、美術教育や展示施設の成立などの歴史について解説する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	「近代日本美術」とはなにか				対面授業
第2回	近代美術に関する言葉の誕生				対面授業
第3回	博覧会と近代美術				対面授業
第4回	浮世絵の近代化				対面授業
第5回	洋風画と洋画				対面授業
第6回	洋画の発展				対面授業
第7回	日本画の誕生				対面授業
第8回	日本美術院の成立				対面授業
第9回	彫刻の成立				対面授業
第10回	仏像修復と文化財				対面授業
第11回	工芸の成立				対面授業
第12回	大正期の絵画				対面授業
第13回	大正期の版画				対面授業
第14回	大正期の彫刻				対面授業
第15回	講義の振り返りとまとめ				対面授業
成績評価の基準	授業中におこなうテスト及び提出課題、授業態度から総合的に評価。				
履修にあたっての留意事項	東京国立博物館や国立近代美術館などの展示を各自で見学することが望ましい（詳しくは授業中に説明）				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	授業中に適宜指示または配布。	教科書(ISBN)	
参考文献	佐藤道信『〈日本美術〉誕生 ――近代日本の「ことば」と戦略』	参考文献(ISBN)	448051077X